

# りふる さっぽろ

## 特集

女子学生就職セミナー「ライフキャリアセミナー」

—自分のための仕事選び—

インタビュー記事

学校における「男女共同参画」



# ライフキャリアセミナー 「自分のための仕事選び」



渡辺 三枝子さん（筑波大学教授）

## 就職ということ

就職とはもう一つの新しい社会に生きるという覚悟、年齢の違う人や性差など今までの学校や友達関係ではほとんど出会わなかった人々と一緒に生きていくこと、人々に貢献することです。「自分のための仕事選び」というときに自分のことだけを考えることかと思うかもしれません。自分のための仕事というのは他者なくしては存在しません。自分が働くことは他の人の貢献であり、同時に自分の仕事ができるようになるためには、他者の協力が必要なのです。日ごろの生活の中で、いろんな人と接していく勇気、話す勇気を持って、そこから新しいものを得ていくことが自分のための仕事を探していくのにとても役に立つと思います。

## 4つの質問

- 1 なぜあなたは、このセミナーに参加したのですか
- 2 このセミナーにどんな期待を持って来ましたか
- 3 このセミナーについての情報をどのように得ましたか
- 4 働くことや仕事を持つことにどのような意味があると思っていますか

札幌の女性の完全失業率は5.6%(H7)から5.8%(H12)にあがっており、そのうち20歳～24歳までの女性の率は8.6%から9.4%に上昇するなど、女子学生の就職は全国的にも厳しい状況に置かれています。

変化の激しい現代社会にあって、一人ひとりが性別にかかわらず自分の能力を最大限に発揮していくためには、直面するさまざまな課題にどのように対応していくかが大切になってきます。

今回は、筑波大学でカウンセリング心理学、職業心理学、産業カウンセリングを専門に、中学・高校におけるキャリア発達支援プログラムの開発等をテーマに研究をされている渡辺三枝子さんをお迎えして、職業選択における自分自身や仕事の理解、目標設定や問題解決の考え方についてお話をいただいた概要についてご紹介いたします。

(この講演は平成15年11月15日(土)に男女共同参画センターで開催しました。)

自分が生き生きと生きてみたいと思うのであれば、こういうことは常に考えてみなければいけないことです。

就職活動においては就職先、求人先の思惑を考えてしまいがちです。考えることは大切ですが、同時に、自分自身についても考えるくせをつけておく必要があります。今までしたことのない経験、何か新しいことをすることによって自分にプラスされるもの、それが嫌な経験だったとしても失敗経験としてではなくて、自分にとって役に立つ経験としていく力を持つことがすごく重要なのです。

いろいろな経験を失敗とするかどうかは社会一般の価値観であり、他者の価値観です。経験から何かをどんどん欲に得ようとする姿勢や考え方の大切です。今回のようなセミナーに参加した経験を使って自分で考えるくせをつけておくと、すごく難しい経験にぶつかったときや一見とてもマイナスだと思われる経験にぶつかったときに、早く立ち直り、その経験に意味をつけていくようになるでしょう。これがまさにライフキャリア、自分で自分の人生を作っていくときに、どうしても欠くことのできない態度や力なのです。

就職活動や企業訪問などの新しい活動をするとき、そこから何か自分にとって意味のあるものを見つけていくためには、自分の期待したことだけを得ようとしないで、期待していないかったこと、考えてもいなかつたものも手に入るようにしておいた方が、経験は生かせると思います。

## 自己実現という思い込み

自己実現のできる仕事、自分の能力や自分の夢をすぐ実行できる職場はいい職場で、自分の夢や能力が使えない職場を悪い職場、悪い仕事という思い込みはないですか。エントリーシートに自分の興味、関心、自分の希望やこの会社に入ったらこういうことをしたいと書いて、それができることができることが自己実現だと思ってしまう方がすごく多いのですが、そうではないのです。それは、就職活動を不利に、あるいは自分を苦しめてしまっている思い込みです。このように考えているとどんなに求人があっても、恐らく仕事は見つからないと思います。企業に合わせて自分をつぶしてもいいと言っているではありません。

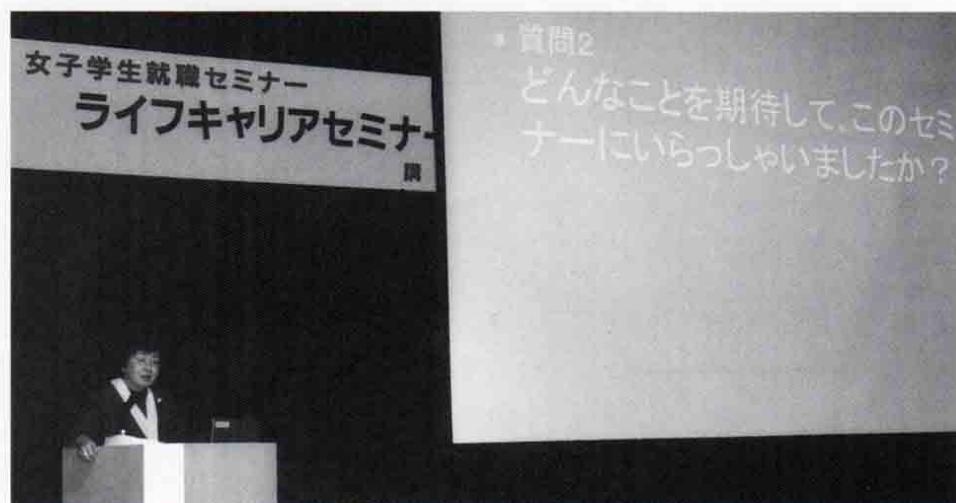
自己実現という言葉は、「一生私たちが自分と向かい合っていく方向性」、「自分を見つめ自分と社会の中

で自分にとって意味のあるものを追い求めていく」という人間の傾向を言うのです。人間は自分を実現したいという思いを持ってその方向に向かっています。だから私は、自分の人権を傷つけられない限りは、嫌なことでも試してみることで自分が大きくなるかもしれませんとお伝えしたいと思います。

## 仕事選び

就職する前に自分がどうしてこんなに就職することにあこがれていたのか、何を求めていたのか、私にとって「働くこと」がどんなことを考えてみましょう。そのためにはお友達と話したり、その会社で働いている人に「御社で働くことはどんな楽しいことやつらいことがありますか」と質問してみてもいいと思います。また、働くことを選ぶ、仕事を選ぶというのは実は就職だけとは限りません。社会と相互作用をしていく一つの材料が、私は仕事を持つことだと思います。だから、ボランティア活動も、家事も仕事の一つです。つまり、仕事とは他者と自分の間をつなげていくものなのです。自分のためにも、他者のためにも、社会のためにもなるという、そういう仕事は何なのか。その仕事を選ぶということはどういうことなのか。これはその仕事に対して、期待するものがお金なのか何なのかによります。仕事に対するいろんな期待を持っていいし、選ぶに当たってどんな基準をお持ちになってもいいと思います。

私は時間の使い方とお金の使い方、同時に仕事を持つということは社会との関係で、社会への責任があることだと思っています。他者との関係、あるいは社会との関係、組織との関係で自分の時間の配分とか役割を考えいかなければいけない。いろんな役割や仕事全体の中で、学ぶこと、仕事をすることを考えてみてはどうでしょう。今、皆さんにとっての仕事ととは、学生なら学ぶことも仕事です。アルバイトも家庭の



手伝いをすることも仕事です。そのバランス、そこでの意味を今考えておけば、その延長線上に就職という

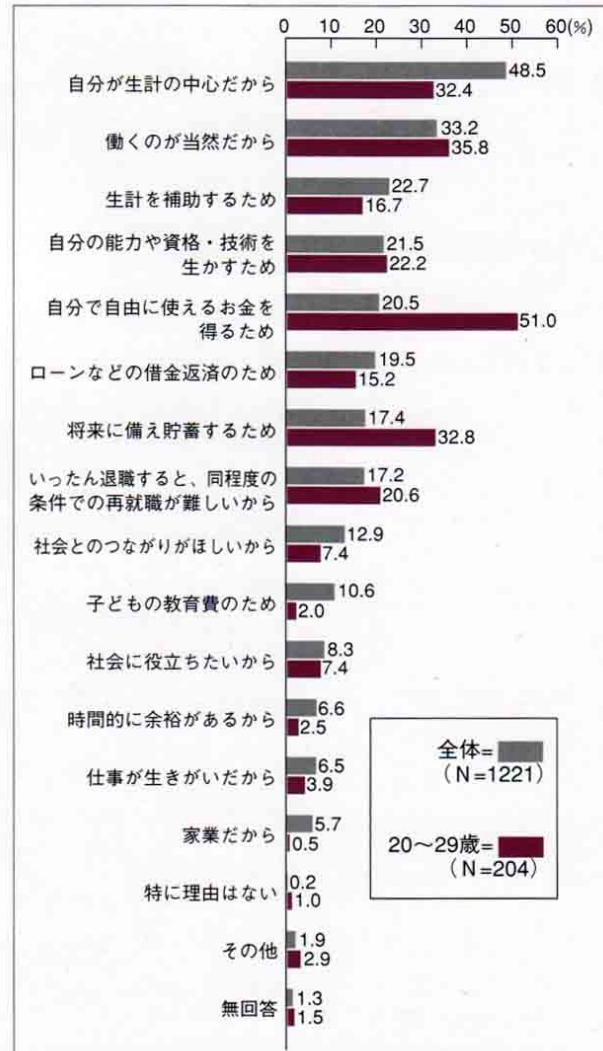
生活もあるのではないかと、私は考えております。

## 札幌の就業状況

渡辺三枝子さんのお話から、仕事を選ぶこと、働くことの意味など、多くのことを学びとることができたのではないかと思います。そこで、現在、働くことを考えている人などのために、最近の就業状況についてご紹介いたします。

### 働いている理由

札幌市が行った「平成13年度男女共同参画に関する市民意識調査」では、働いている理由として「自分が生計の中心だから」が48.5%と最も高く、次いで「働くのが当然だから」(33.2%)、「生計を補助するため」(22.7%)などの順となっています。このうち20~29歳の男女は「自分で自由に使えるお金を得るために」(51.0%)、「働くのが当然だから」(35.8%)、「将来に備え貯蓄するため」(32.8%)などの順になってしまっています。年代を問わずどの世代にも共通しているのは「自分の能力や資格・技術を生かすため」となっています。



「平成13年度男女共同参画に関する市民意識調査」(札幌市)より作成

次頁へ続く⇒

## 労働力人口

国勢調査によれば、平成12年の札幌の20～24歳の働く女性の数は5万人弱となっており、平成7年に比べると約1万人減少しています。これはこの世代の人口そのものが減少していることが原因です。

労働力人口	平成12年	平成7年
総数(15歳以上)	902,363	893,536
女性(20～24歳)	49,028	59,601

## 失業者数・失業率

20～29歳の失業者数をみると、平成2年に約1万人だったのが、平成12年度には約1万8千人に増加しています。また女性の失業率をみると、同じ年齢層で、平成2年の5.9%が、平成12年には8.5%となっており、全体の水準の5.7%を大きく上回っています。男性の失業率は4.1ポイント上昇しています。

(資料：札幌市統計書 平成7年版 平成14年版)

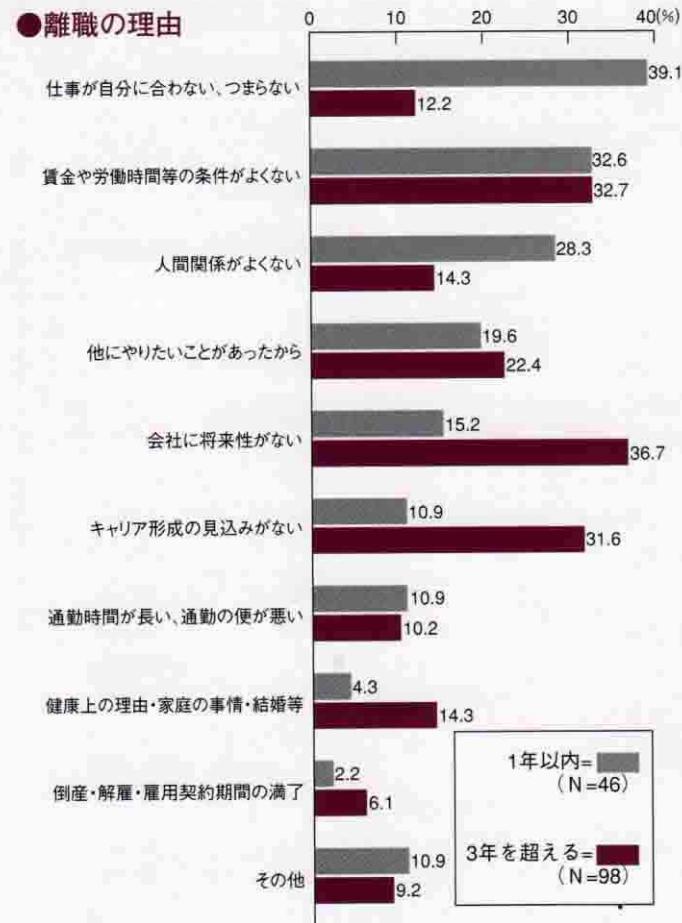
失業者数・失業率	平成12年	平成2年
総数(15歳以上)	51,303 (5.7%)	33,771 (4.1%)
女性(20～29歳)	8,858 (8.5%)	5,662 (5.9%)
男性(20～29歳)	9,612 (8.8%)	4,989 (4.7%)
合計(20～29歳)	18,470 (8.7%)	10,651 (5.3%)

## 離職率

離職率	新規学卒	中途採用者
入社1年以内	5.7%	7.4%
入社3年以内	14.5%	12.7%

厚生労働省の「若年者の職業生活に関する実態調査」(平成15年)によると、1年以内に離職した理由として「仕事が自分に合わない、つまらない」が39.1%と最も高く、次いで「賃金や労働時間等の条件がよくない」(32.6%)、「人間関係がよくない」(28.3%)があげられています。

### ●離職の理由



## 女性が働くことの難しさ

同じ調査で、女性が働くことにおける支障について、「家事・育児と仕事の両立が大変」が65.9%と他に比較して特に高くなっています。次いで「仕事の上で性別によって能力を正当に評価されない」(22.8%)、「保育施設が不十分である」(18.8%)の順となっています。

のことから、就労意欲のある女性が育児期にも働き続けられるよう、仕事と育児等の両立支援に向けた環境を整えることが重要となっています。

### ●女性が働くことにおける障害



# 札幌市 男女共同参画推進室 からのお知らせ

Information

## 平成16年度男女共同参画推進室の 主な啓発事業

男女共同参画推進室では男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな事業を行っていますが、その中でも性別役割分担意識を始めとした意識改革に向けた取り組みに力を入れています。そこで、平成16年度に予定している主な啓発事業についてご紹介いたします。

### 「女と男のための講演会の開催」

男女共同参画について考えていただくきっかけとして、毎年、国の男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせ、各界の著名人や女性問題の専門家等を招き、講演会を実施しています。

平成16年度は、6月26日（土）に道新ホールで行います。なお、講師など詳細につきましては、広報さっぽろ6月号に掲載する予定です。

また、この週間に合わせて男女共同参画について理解を深めていただくためにパネル展の開催も予定しています。



昨年6月28日に作家の小柳山 博さんをお迎えした講演会の様子。  
当日会場にはたくさんの市民が訪れました。

### 「女性に対する暴力防止に向けた 講演会をはじめとした普及啓発」



昨年6月23日～28日に地下街 オーロラスクエアで行った  
男女共同参画パネル展

“女性に対する暴力は、人権侵害である”ことを広く理解してもらい、こうした暴力を未然に防止していくために、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間（11月12日～25日）に合わせて、女性に対する暴力防止についての講演会を行うとともに、暴力の現状などをわかりやすく解説したパネル展も行います。

また、夫・パートナーからの暴力による被害を受けている女性が常時携帯できるよう、相談窓口や緊急一時保護連絡先を記載したリーフレットなどを新たに作成し、広くお配りする予定です。

# Interview

学校における「男女共同参画」

インタビュー

このコーナーでは、さまざまな分野で男女共同参画社会の実現を目指して取り組んでいる「人」を紹介します。

今回は、子どもたちに「男女平等の意識」を伝えるための授業を実践されている星置東小学校の水谷亨先生と西野第二小学校の串山昇先生からお話を伺いました。

水谷 亨さん  
(札幌市立星置東小学校)  
教諭



串山 昇さん  
(札幌市立西野第二小学校)  
教諭



## Q. 星置東小学校では、全校で男女平等教育に取り組んでいるとお聞きしました

低学年のころから男女の性差に気づき始めます。「男なんだから、女のくせに」と言い始める時期から、ジェンダー（文化的につくられた性差）にとらわれない生き方を日々の生活の中で伝えていきたいと考えています。

## Q. ジェンダーを考えるために必要な力とは？

お互いの違いを認め、どれだけ相手を受け入れられるかが、男女平等教育の根柢だと思います。ジェンダー意識など、自分の先入観に気づくためには、自由な発想と分析して決める力、他の意見を受け入れる柔軟性と選び取る力が必要です。

## Q. 私たち大人が子どものためにできることは

学校だけで男女平等教育を進めることは難しいと思います。ジェンダー意識は、メディアの影響を大きく受けているからです。メディアからの偏った情報をどう修正するかは大人の役目ですが、その大人も偏った意識を持っていたりするので、気をつけたいところです。

男女平等教育のいきつくところは、自分自身を大切にする意識の育成です。自分を大切にできない人は、みんなを大切にすることができません。性別を超えて一人ひとりがかけがえのない存在であることに気づくことが、人権尊重の意識につながるのだと思います。

## Q. 男女平等教育の取り組みについて教えてください

子どもが自分の心と体を大切にし、よりよく生きる力を学ぶ窓口が男女平等教育だと考えています。子どもたちは、6年間の小学校生活で男女の違いに気付きます。この違いが差別意識につながらないよう、尊重し合う人間関係を構築することを大切にしています。

## Q. なぜ、性に関する授業に力を入れているのですか

生命や体の学習を通して「自分はかけがえのない大切な存在」であるという自己肯定感を持つことが男女平等教育の第一歩です。そして、友達も自分と同じく大切な存在であることを学ぶことで、安定した人間関係を形成することができるのです。性に関する指導を行うことで、男女を問わず人間として平等に、お互いがもっているよさを発揮しながらよりよく生きようとする態度を育んでいきたいと考えています。

## Q. 今後、男女平等教育をどのように発展させていくとお考えでしょうか

男女平等教育にかかわる学習内容を、教科・道徳・特別活動、そして総合的な学習の中で関連付け、発達段階に応じた教育課程を充実させることが課題です。教師自身も男女平等意識をしっかりと持ち、豊かなかかわりの中で豊かな心を育む教育活動を営む必要があります。この営みこそが豊かな人間性の育みにつながると言えます。

### 情報センターでは・・・

- 男女共同参画にかかる図書、全国の関連施設から届いている機関紙や報告書、視聴覚資料を自由に閲覧したり、借りることができます。(一部は閲覧のみ)
- 情報センターに設置しているパソコンではお探しの本や資料を自由に検索したり、インターネットで調べたり、札幌エルプラザ内の公共4施設に関することなどさまざまな情報収集にご利用いただけます。お気軽に受付カウンター職員までお問い合わせください。



### 特設コーナーの設置

男女共同参画に関連するテーマの本の紹介をしています。テーマに関連する図書がひと目でわかります。

### 情報センターだよりの発行

新着図書情報やおすすめ図書、貸出ランキングなどを掲載しています。このおたよりは、札幌市内公共施設等でお配りしています。また、ホームページでもご覧になれます。

<http://www.danjyo.sl-plaza.jp/jyouhou/index.html>



### 皆さまからのおすすめ図書の掲示

情報センターをご利用の方からいただいたおすすめ図書の紹介文をセンター内に掲示しています。紹介文は随時受け付けておりますので、おすすめの一冊をお知らせください。

### 職員からのおすすめ図書

男女共同参画センター職員がおすすめする図書を紹介しています。書架にて、紹介文とともにご案内しています。

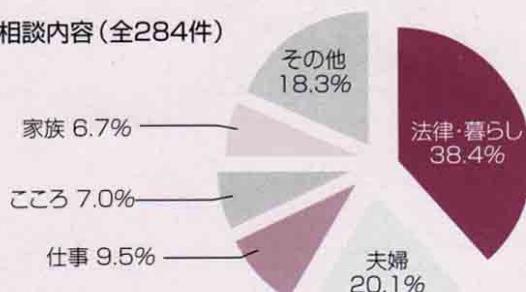
## 相談室からのお知らせ

男女共同参画センターでは、5つの相談窓口を開設しています。開設した9月から2月までの6ヶ月間の利用件数は、284件でした。グラフ1のとおり、法律・暮らしにかかる相談が多くなっています。その中でも、離婚や夫婦間のことについて、法律的な解決を望む方が多い傾向にあります(グラフ2)。

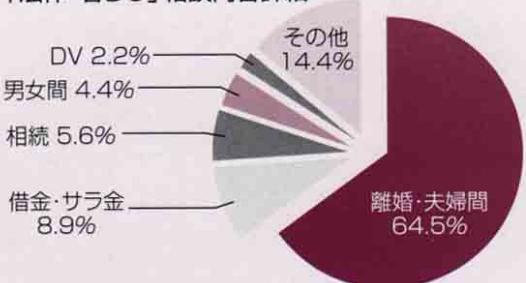
また、相談窓口に多く寄せられる相談内容を参考に、身近なテーマを取りあげることにより解決のヒントを見つけられるよう、男女共同参画センターの相談員が行う「昼休みセミナー」を平成16年度においても開催する予定です。詳しい日程などが決まりましたら、広報さっぽろやホームページでお知らせいたします。

※悩みごとの内容や状況によって、対応できる相談窓口は曜日・時間帯が異なります。お気軽にお問い合わせください。

グラフ1:相談内容(全284件)



グラフ2:「法律・暮らし」相談内容詳細

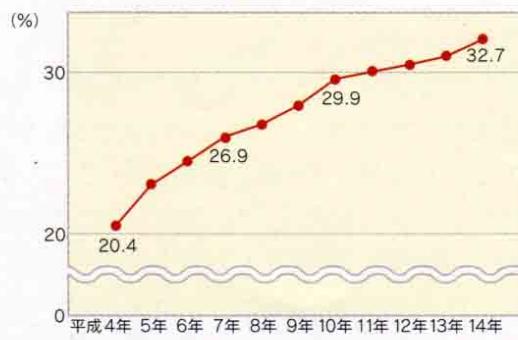


# 32.7%

平成14年度札幌市内の大学生49,394人のうち女子は16,146人で、その割合は32.7%です。平成4年度では全ての大学生における女子学生の割合は20.4%で、この10年間で12.3ポイント増加しています。

## 札幌市内女子学生の割合

### ■札幌市内の女子学生の割合

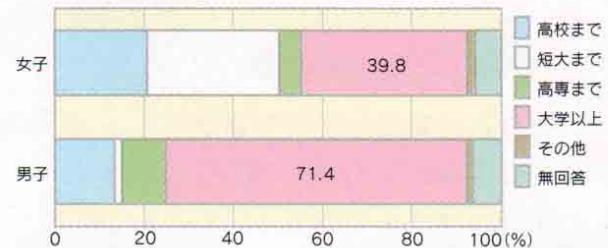


「札幌市統計書（札幌市）平成8年版～14年版」より作成

親が子どもに身に付けさせたい教育程度は、71.4%の親が、男の子には大学以上の教育を希望しています。一方、女の子に大学以上の教育を希望する親は39.8%となっており、男の子と女の子では、大きな開きがあります。

※札幌市内の大学（国立2校、道立1校、私立8校）。学生数は、北海道大学水産学部には、函館所在的函館キャンパス分、および石狩市所在的藤女子大学人間生活部の学生が含まれています。)

### ■子どもに受けさせたい教育



資料：「男女共同参画の現状と施策」（総理府＜現内閣府＞、平成9年、平成7年度経済企画庁＜現内閣府＞「国民性格選考度調査」より）

## 男女共同参画センター平成16年度主催事業のご案内

男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現や課題解決にかかわる講座を開催しています。今回は、新規講座の一部をご紹介します。

### 市民企画講座

男女共同参画センターと協働で事業を行ってみませんか。男女共同参画に関する所定のテーマにそった事業を実施できる市民団体を募集します。詳細は『広報さっぽろ』等でお知らせしますので、ご応募お待ちしています。

### 出張講座

あなたのオフィスに講座を出前します。企業における男女共同参画に関する意識を深めるため、企業への訪問を行うなど民間企業と連携した講座を計画していますので、ご期待ください。

### 女性のためのキャリア形成支援講座

さまざまな分野での女性の「チャレンジ」を支援します。このため女性のキャリア形成を促すことを目的とした講座を計画しています。

### 子どもを対象とした男女共同参画啓発事業ほか

子どもを対象に男女共同参画に関する本の読み聞かせやビデオ上映会を行うほか、「パソコン講座」なども新たに実施します。また、平成15年度に行った事業の中でもたくさんのお申し込みをいただいた「起業準備講座」「再就職準備講座」「アサーティブネス・トレーニング」などについてもさらに充実した内容で実施する予定です。

### 〈編集後記〉

男女共同参画センターがオープンして半年、新しい春を迎えることができました。平成16年度には新たに始める事業も計画しています。男女共同参画社会の実現を目指した拠点施設として機能が十分発揮できるよう、皆さまからのご意見をいただきながら成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

### 〈お便りお待ちしています〉

本誌に対するご意見とともに、男女共同参画センターの主催事業、施設利用などに関するご意見もお待ちしております。はがき、封書、FAXで、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、

札幌市男女共同参画センター「りぶるさっぽろ」係  
までお送りください。

男女共同参画センターで行われる主催事業にはすべて託児（1歳半以上就学前の幼児）を用意しています。

詳細は、男女共同参画センターまでお問い合わせください。TEL(011)728-1222

発行日：平成16年3月

発 行：札幌市男女共同参画センター  
(管理運営 財団法人札幌市青少年女性活動協会)  
住 所：〒060-0808  
札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内  
電 話：(011)728-1222 FAX：(011)728-1229  
ホームページ：<http://www.danjyo.sl-plaza.jp>